

JB Customer Report

カスタマーレポート



岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

ますます使いやすくなったORPHISは、社員全員に快適な印刷環境を与えてくれました！

JAめぐみの様

2014年3月にORPHIS Xから入替導入したORPHIS EX7250の感想を、総務課 須田敏文様に伺いました。

①カラーで印刷してもコストが抑えられるなんて！

ORPHISを導入する約6年前までは部署ごとにコピー機やプリンターを保持しており、コストが少しでも掛からないように、社内ではカラー印刷を避けてモノクロ印刷をすることが暗黙のルールとなっていたんです。

しかしORPHISを導入してからは4色インク(CMYK)で管理をするようになり、モノクロ印刷にこだわらなくて済むようになったんです！資料やポスターなども、カラーを使って分かりやすく・見やすいデザインで印刷出来るようになったので助かりますね。

また、4色インクでの管理によって従来の印刷環境と比較した報告がし易くなり、コストがどれだけ抑えられたかが分かりやすくなりました。細目な数字のチェック・把握、その状況に合った経理管理をしていくことが社内の信頼を得ると考えているので、それらが容易に行えるという点が、職員が快適に使用出来ている事に繋がっているのではないかなあと考えています。

②新しい機械は、印刷の幅を広げてくれました！

職員ごとに用途が違うので、それぞれに使い方の説明をして1日を費やすこともあります。ですが、職員一人一人に様々な機能をしっかり理解してもらう事で、印刷におけるコスト削減への理解や意識が深まったり、作業効率が上がったりと、全体の業務効率UPに繋がっています。短時間で大量印刷が可能だから、その分の時間を説明に充てられるんですよね。

入れ替え前のXシリーズでは、紙詰まりなどのトラブルを恐れて封筒印刷を敬遠してましたが、EXは通紙が良くなった為、やっと封筒印刷にも取り組みそうで嬉しく思います。これからは、封筒の他にもXでは敬遠していた薄紙・厚紙の印刷など、用途を広げていきたいと思えます。



この1台で様々な印刷が出来てしまうので、とても助かっているんです！

営業担当者の声



須田様はコスト管理に対して、様々な取組を積極的に行っており、ORPHISの潜在価値をフルに活用頂いています。高速性・経済性と言ったORPHISの顕在価値と共に、ニーズにあった提案を、今後心掛けて参ります。

営業担当：今井 涼二